

# PHOENIX INFORMATION

## ～2月号～

### 成功の秘訣

この瞬間を待っていた…。

大相撲春場所で22日の千秋楽、結びの一番で横綱白鵬を下し初優勝に花を添えた大関稀勢の里。大関昇進後、賜杯まで約5年。“苦勞人”が至上の誉れを掴んだ。

14日目に初優勝を決めた大関稀勢の里は、結びの一番で横綱白鵬をすくい投げで破って14勝1敗として初の天皇賜杯を手にし、場所後の横綱昇進も確実にした。日本力士としては19年ぶりの「第72代横綱稀勢の里」の誕生である。

突き刺すような前傾姿勢。白鵬が鬼の形相で寄り立てていく。土俵際、稀勢の里が左浅く差し、その左から叩きつけるように投げ、ずっと立ちふさがってきた第一人者を土俵に沈めた。

「必死の寄りに白鵬の横綱としての意地を見た気がする。それをよく残した。相撲は全然ダメだったけど。」と八角理事長がうなづいた。「あれだけの寄りを残したんだから稀勢の里は自信になるんじゃないか。白鵬はショックかも知れない。」

「土俵際は必死だった。」と稀勢の里。取組前から白鵬戦の勝敗にかかわらず横綱昇進は確実だった。晴れがましいはずの千秋楽でぶざまな相撲は取れない。まさに意地の逆転勝ちだった。

優勝次点12回。この数字がファンのため息の数を表している。優勝を目前に何度転んでも立ち上がって前進した。「心が弱い」と言われていたことが嘘のように新春の土俵を逞しく駆け抜けた。14日目、優勝を決めた一筋の涙は「針のむしろ」から解放された安堵感が誘ったものだった。

2010年、白鵬の、双葉山の69連勝を目指すカウントダウンが始まる九州場所。2日目に前頭筆頭の稀勢の里は白鵬の連勝の夢を63で粉碎する。相撲史に残る歴史的一番である。13年名古屋場所で、43で白鵬の連勝を止めたのも稀勢の里である。双葉山の連勝を止め、後に横綱に昇進する安芸ノ海と重なる。

師と同じく30歳の声を聞いてからの遅咲き横綱となるが「本当の力が出るのは30から」と初代若乃花がよく言っていた。その荒稽古でなる二所ノ関一門の伝統は、弟子から弟子へと伝えられ体に染みついている。力士同士の馴合いや芸能と相撲の接近を嫌う相撲の本道が、相撲一筋のいっちな稀勢の里には流れている。この日本出身横綱の誕生が、大相撲の醍醐味をもっと高めてくれる予感が漂う。

初土俵から15年。“未完の大器”と呼ばれ続けた稀勢の里は記者会見で「腐らず我慢してよかった」と笑顔を見せた。記者会見に同席した田子ノ浦親方は「人一倍努力しているし弱音を吐かない。その結果が出ている」と讃えた。

優勝インタビューでは「自分の相撲を信じて、もっと強くなりたい」とファンに誓った。「自分の相撲」とは、注文相撲とは無縁の「真っ向勝負」にほかならない。小才の利かない稀勢の里の正直さを尊くも思い、歯がゆくも思っていたのは親方に限ったことではなかったのだが。

「正直者は馬鹿を見る」「羊のように素直に、蛇のように狡猾に」生きることが処世の知恵だというパラダイムに、真っ向から突き当たってその一角を打ち砕いてくれた一人の「大物」に、清々しさと心地よさを感じた。あまりにも正直すぎて、真っ直ぐすぎて、孤塁を保っている姿勢に、周囲に敬意も対抗心もやっかみも抱かせた。ぶれずに媚びずに正直に真っ直ぐ生きていいんだと、そして、時を「待つ」ことも15年の苦節をもって見せてくれたのだ。

「天才は生まれつきです。もうなれません。努力です。努力で天才に勝ちます。」中学の卒業文集にこう書いた。初心を貫きたどり着いた快挙だった。

『努力のできない天才は凡才であり、努力のできる凡才は天才である。』（小生）

努力したその先の結果は誰にも見えない。一つひとつの日々の結果を直視して改善や修正を施すことを続ける。それが「努力」ということなのではないか。世の中の「成功者」の共通項である。

今回の配布物	今回の提出物
◇インフォメーション(本紙) ◇2月分費用明細	なし

### ※封筒の返却について

翌月のインフォメーションや費用明細などの大切な書類を封筒でお渡ししておりますが、その封筒をできるだけ長く使い、資源を有効活用していくことに努めてまいりたいと思います。封筒の再利用にご協力下さい。

### 《2月の予定》

2月6日(月)～10(金) 月例テスト期間  
2月11日(土) 「建国記念日」土曜授業あり



### 【中3対象】

入試突破力完成講座(土曜特別講座)

1月28日 2月4・11・18日

### 【中1・中2対象】

中間期末テスト攻略講座(土曜特別講座)

1月28日 2月4・11日

※1/28は栄和教室・高砂教室のみ開講

### 全塾生へのお知らせ

◎2月11日(土)の「建国記念日」は祝日ですが土曜授業があります。

### 小学6年生へのお知らせ

### ◎3月は英語が必修となります。

小学6年生は、中学1年生の1学期中間テストで英語と数学の100点満点を目指すために中学校内容の学習を3月から開始します。中学校では小学校までとは比べ物にならないほどの学習量となります。そのためには早い段階から中学校の勉強内容に即した学習をすることが不可欠です。定期テストに四苦八苦し、部活や学校行事を満喫できない…。そんな中学校生活を送らないためにも、3月は英語を必修といたします。英語をまだ受講していない塾生には詳細をこちらからご連絡します。

## 2月の月例テストのお知らせ

- ◇実施日 2月6日(月)～10日(金) ※平常授業内で実施します。中学3年生は実施しません。
- ◇教科 小学3～6年生＝国語・算数 中学1・2年生＝国語・数学・英語
- ◇試験範囲 主な試験範囲は以下の通りです。

	国語	算数
小3	物語文・漢字	これまでの復習 計算問題
小4	物語文・漢字	これまでの復習 計算問題
小5	物語文・漢字	これまでの復習 計算問題
小6	物語文・漢字	これまでの復習 計算問題



	国語	数学	英語
中1	漢字・言葉の知識 読解問題	計算問題・図形	PROGRAM9までの内容
中2	漢字・言葉の知識 読解問題	計算問題・図形	PROGRAM9までの内容

## 中学1・2年生へのお知らせ

### ◎新中学3年生【週3回＋土曜講座】の通塾へのご協力のお願い

今年度から教科書が改訂され、各教科とも教科書の内容の質・量が大きく変わりました。また、この春の入試から埼玉県公立高校の入試制度も変更されます。(理科・社会の検査時間 40分→50分への拡大と英語・数学の学校選択問題の実施) 第一志望校に合格するためには学校の教科書内容の基礎事項ばかりでなく、応用問題を数多く学習していく必要があります。フェニックスアカデミーでは3月から新中学3年生の通塾回数を週3回＋土曜講座とし、5教科の指導を行います。ご理解とご協力をお願い致します。

### ◎中1・中2 中間期末テスト攻略講座

中学1・2年生を対象とした講座です。学校の定期テストで主に理科・社会の得点力アップを目指します。1・2月の開講予定は以下の通りです。

- ◇開講日 1月28日 2月4・11日(土) ※1/28(土)は三橋本部教室は開講しません。(1/21に振替済みです)
- ◇時間 19:30～21:40
- ◇開講教室 三橋本部教室・栄和教室・高砂教室

## 中学3年生へのお知らせ

### ◎入試対策教材を配布しています。

中学3年生の公立第一志望の生徒に対して1月中旬から入試対策教材を配布しています。この教材は埼玉県公立入試までの期間で使用される教材です。各教科で配布した教材が終了した生徒には追加でお渡ししていきます。入試対策教材の費用につきましては、後日ご請求させていただきます。よろしくお願い致します。

### ◎入試突破力完成講座「入試そっくり予想問題リハーサル」

入試本番に備えるための入試突破力完成講座「入試そっくり予想問題リハーサル(全6回)」を開講しています。入試予想問題を使用した本番さながらの模擬試験および解説を行います。今後の日程は以下の通りです。

- ◇開講日 【第3回】1/28 【第4回】2/4 【第5回】2/11 【第6回】2/18 (全て土曜日)  
※1/28(土)は東浦和教室は開講しません。(1/22に振替済みです)

- ◇開講教室 三橋本部教室 (三橋本部教室・プラザ教室の生徒)  
栄和教室 (高砂教室・栄和教室の生徒)  
東浦和教室 (東浦和教室の生徒)

- ◇時間 10:00～17:20

- ◇科目 公立第一志望の生徒 → 5科 (全6回)

※入試本番同様、制服着用で出席してください。



## 中学2年生へのお知らせ

### ◎3月の北辰テストの申込み

- ◇試験実施日 3月5日(日) ◇申込み受付期間 2月13日(月)まで
- ◇対象学年 中2 ◇受験料 4600円(税込み)
- ◇科目 5科

※出題範囲については北辰テスト年間ガイドで確認して下さい。

※中学2年生は来年度の受験へ向けて現在の実力を計るための重要なテストになりますので、積極的に受験してください。

フェニックスアカデミーの情報満載 ホームページは

フェニックスアカデミー

検索

フェニックスアカデミー ブログ

検索

お問い合わせは下記本部事務局まで、お気軽にどうぞ。

本部事務局 048-622-8003

本部事務局メールアドレス mihashi@phoenix-academy.net